

所属・資格 教育学科・准教授

申請者氏名 田中 謙

| | | |
|---|---|---|
| 研究課題 | | 日本におけるダイバーシティ・インクルージョン社会の発展過程に関する歴史的研究 |
| 報告の概要 | 研究目的 および 研究概要 | <p>本研究は日本におけるダイバーシティ・インクルージョン社会の発展過程に関して、主に教育・福祉領域の展開過程の特質を明らかにすることを目的とした。</p> <p>本研究では上記の目的を達するため、主に以下の4つの研究課題に取り組んだ。</p> <p>①「戦後日本における言語障害支援の展開過程に関する研究」 ②「戦後日本における障害児療育史に関する研究」 ③「特別支援教育・障害児保育に関する研究」 ④「子どもと地域に関する研究」に取り組んだ。</p> |
| | 研究の結果 | <p>本研究の目的を達するため、上述の各研究課題に取り組むための資料調査と収集を都道府県および基礎自治体立図書館、基礎自治体議会事務局、学校、保育所等で実施した。また調査で得られた資料等を基に研究結果を論文として執筆し、各学会等に投稿を行った。</p> <p>2022年度は研究結果に基づき、下記に示すように以下の研究発表等を行った。</p> <p>①所属する学会等で4冊の著書に共著で執筆を行い、刊行された。 ②所属する学会等へ論文投稿を行なった結果、査読付き学会誌6本(単著6本)、日本大学文理学部人文科学研究所研究紀要1本(単著)、その他大学等研究紀要4本(単著2本、共著2本)の合計11本の論文が採択・掲載された。 ③所属する学会等で合計8回の発表を行った。</p> |
| | 研究の考察・反省 | <p>一例として①「戦後日本における言語障害児支援の展開過程に関する研究」に関しては、基礎自治体におけることばの教室創設に係る自治体行政政策と政治との関連性や、アクターとしての保護者・親の会や教員等専門職の果たした役割が徐々に解明されつつある。本研究課題に関して、執筆した研究論文を基に、刊行に向けたまとめ作業に着手した。</p> <p>次年度も継続して調査に取り組むとともに、研究成果を所属学会等で発表し、論文投稿を行っていく予定である。</p> |
| 研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者 | <p>【研究発表】 [著書]</p> <p>①小川英彦・田中謙編著(2022年8月8日)『ダイバーシティ・インクルージョン保育』三学出版, 13-20, 89-97, 181-188, 225-231(執筆箇所:第1章、第10章、第20章、第25章、本書を終えるにあたって)。 ②幼児教育史学会監修小玉亮子・一見真理子編(2022年10月26日)『幼児教育史研究の新天地—幼児教育の現代史—』下巻, 萌文書林, 208-231(執筆箇所:「障害児保育と『保育の科学化』」)。 ③中西郁・小川貴代子監修・編著大井靖・岡本明博・田中謙編著(2022年10月26日)『発達が気になる子どもの個別の指導計画作成ガイドブック』ジヤース教育新社, 56-65, 72-78, 93-94(執筆箇所:Chapter6、Chapter8、Column7、個別の指導計画関係法令(抜粋))。 ④日本学校教育学会研究推進委員会編(2022年11月24日)『学校教育を深める・究める』三恵社, 83-98(執筆箇所:第6章「深める・究める特別支援教育のカリキュラムマネジメント」)。</p> <p>[論文]</p> <p>①田中謙(2022年5月1日)「1980年代の小都市における『センター事業』整備によるインベーションの実現過程—東京都保谷市こどもの発達センターひいらぎを事例に一」日本医療福祉政策学会『医療福祉政策研究』5(1), 75-94.</p> | |

研究発表
学会名
発表テーマ
年月日/場所

研究成果物
テーマ
誌名
巻・号
発行年月日
発行所・者

- ②田中謙 (2022年9月1日)「函館市『ことばの教室』創設における政策過程の特質—『政策の窓』モデルの視座に基づく分析—」日本学習社会学会『日本学習社会学会年報』18, 87-96.
- ③TANAKA Ken (2022年9月30日)“The Unique Nature of Training Programs and Unique Nature of Learning in Sending Teaching Staff for Long-term Training on External Attachment : Focusing on Knowledge Transfer in the “Training Diary by a Hokkaido Teacher who was sent to Mainland Japan” in the 1960s.’ *Studies in humanities and social sciences*104, 173-198. (「教員の長期派遣研修における学びの特質—1960年代内地留学経験者の研修記録における知識移転を中心に—」『日本大学文理学部人文科学研究研究所研究紀要』104, 173-198.)
- ④田中謙 (2022年10月30日)「就学前期における特別ニーズ教育の課題と展望—幼児教育・保育および療育と、保護者に対する子育て支援の動向から—」日本特別ニーズ教育学会『SNE ジャーナル』28(1), 36-48.
- ⑤工藤ゆかり・瀧澤聡・田中謙 (2023年1月31日)「北海道の保育・幼児教育施設における障害児保育・特別支援教育の実際」『北翔大学教育文化学部研究紀要』(8), 197-207.
- ⑥田中謙 (2023年2月23日)「ことばの教室創設に係る政策過程の事例分析—『西十勝ことばの教室』事務委託に係る鹿追町行政の政策決定—」日本大学文理学部教育学科発行『Society5.0に対応する学校教育に関する基礎的研究—日本大学文理学部人文科学研究研究所共同研究(第五次報告書)—』, 101-108.
- ⑦瀧澤聡・田中謙・工藤ゆかり (2023年3月20日)「シエルボーン・ムーブメント (SDM) による指導法の効果に関する教員免許取得希望学生の評価—指導法としてのメリット・デメリットに関する評価を中心に—」『北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要』14, 93-101.
- ⑧田中謙 (2023年3月31日)「『コロナ禍』の知的障害特別支援学校におけるカリキュラムマネジメントの特質—ICTの活用に焦点をあてて—」山梨大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要『教育実践学研究』(28), 295-306.
- ⑨田中謙 (2023年3月31日)「『特別ニーズ教育』『インクルージョン』推進のための制度整備に向けた政策形成の論点—北海道行政による歴史的事例を手掛かりに—」日本学習社会学会『学習社会研究』(5), 16-29.
- ⑩田中謙 (2023年3月31日)「基礎自治体教育行政の政策過程における知識資源の活用と知識移転の特質—北海道岩見沢市『岩見沢市立中央小学校言語治療教室』創設に関する事例研究—」日本教育福祉学会『人間教育と福祉』12, 41-54.
- ⑪田中謙 (2023年3月31日)「地方小規模基礎自治体におけることばの教室開設に係る政策過程の特質—北海道上川郡新得町における教訓導出に基づく政策形成手法に焦点をあてて—」特別支援教育実践研究学会『特別支援教育実践研究』3, 36-51.

[学会発表等]

- ①田中謙 (2022年6月25日)「ことばの教室創設における知識資源の活用と知識移転—北海道岩見沢市の事例分析—」日本子ども社会学会第28回大会自由研究発表(研究発表E【子どもと言葉】), 於:宮城教育大学.
- ②田中謙 (2022年7月9日)「教育事務の視点から学校事務の在り方を考える—今後の研究推進のための論点整理を目指して—」日本教育事務学会第7回研究会(京都集会)研究推進委員会課題研究話題提供, 於:京都光華女子大学.
- ③田中謙 (2022年9月3日)「北海道における言語障害幼児支援の歴史的展開過程—『釧路市幼児言語治療指導所』の事例分析を中心に—」日本学習社会学会第19回大会自由研究発表, 於:東京学芸大学.
- ④田中謙 (2022年10月16日)「『西紋地区ことばの教室』創設における福祉行政及び教育行政の政策過程の特質—広域行政におけるイシューネットワークの視座から—」日本社会福祉学会第70回秋季大会自由研究発表, 於:関西福祉科学大学.
- ⑤大津雅之・青柳修平・田中謙 (2022年10月16日)「自閉症者が行う作業工程における『保護バッファ』概念導入の重要性」日本社会福祉学会第70回秋季大会自由研究発表, 於:関西福祉科学大学.
- ⑥青柳修平・大津雅之・田中謙 (2022年10月16日)「障害者就労支援施設における業務マネジメントに関する研究—薪生産を安定化させるシミュレーションモデルの構築—」日本社会福祉学会第70回秋季大会自由研究発表, 於:関西福祉科学大学.

| | |
|--|--|
| <p>研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所</p> <p>研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者</p> | <p>⑦田中謙（2022年10月30日）「就学前期における特別ニーズ教育の課題と展望—幼児教育・保育および療育と、保護者に対する子育て支援の動向から—」日本特別ニーズ教育学会第28回研究大会課題研究話題提供，於：上越教育大学・新潟大学.</p> <p>⑧田中謙（2023年3月4日）「地方小規模基礎自治体におけることばの教室開設に係る政策過程の特質—北海道上川郡新得町における教訓導出に基づく政策形成手法に焦点をあてて—」日本教育福祉学会第12回研究大会自由研究発表，於：高千穂大学.</p> <p>[その他]</p> <p>①田中謙（2023年）小川英彦・田中謙編著『ダイバーシティ・インクルージョン保育』（三学出版、2022年8月8日）図書紹介（日本大学教育学会『教育学雑誌』59, 105-106）</p> |
|--|--|